

財団の目的と事業・研究の領域

三菱グループにより設立された当財団は、調査・研究活動を通じて高齢社会の保健、医療、福祉などの課題解決をめざし、公益に寄与しています。



主な研究・調査活動 (2018年度)

〔ダイヤ財団主管研究〕

- 介護 QI によるケアサービスの質の評価研究
- 新総合事業の効果検証に関する自治体共同研究
- 要介護高齢者の残存能力を最大化する住環境評価尺度に関する研究
- シルバー人材センターの社会的有用性に関する研究
- うつ予防プログラムの効果検証及び定着普及に関する研究
- 都市高齢者の社会関係周縁部に関する研究
- ICT を活用した高齢期の社会活動継続に関する研究
- ゆるやかなソーシャルキャピタルを醸成する介護予防事業の構築・継続要因に関する研究
- 50代・60代の働き方に関する調査
- 50代・60代・70代の老後資金等に関する調査

〔分担・共同研究〕

- 大都市求職高齢者の実態解明及びシームレスな社会参加支援に向けた研究
- 特別養護老人ホームの終末期ケアにおける多職種連携とケアの質の評価に関する研究
- 先進各国における高齢者の介護予防に資する自助又は互助も含めたサービスの仕組みに関する調査研究事業
- 杉並区制 80 周年 共同研究「健康長寿モニター事業」

公益目的事業

主な普及・広報活動 (2018年度)

講演会・シンポジウム
などイベント開催

研究論文・研究報告書・
学会発表

機関誌『Dia News』・
調査報告書などの発行

社会老年学文献データ
ベース「DiaL」の提供

うつ予防プログラム
「ハッピープログラム」

シニアが楽しむエアロ
ビック「ダイヤビック」

収益事業等

調査研究を通じて得られた知見、技術等を活用して行う受託事業及び高齢社会の諸問題に関するテキスト、教材等の有償頒布等

賛助会員関連団体が行う高齢者による社会貢献活動に対する協力及び支援